

未来の子どもたちのために

桑原としひこ通信

平成28年(2016年)12月17日発行 Vol.5

討議資料

平成28年9月議会 一般質問

みなさんこんにちは。今回は9月の一般質問内容を掲載いたします。

国土強靱化とは・・・

本年9月7日利根町に土砂災害が発生しました。近年では異常気象による土砂災害・雪害などが各地で発生しています。このような想定外とも言える大規模自然災害の歴史をふり返ると、これまで様々な対策を講じてきたものの甚大な被害により長期間にわたる復旧・復興を繰り返してきました。これを避けるためには、とにかく人命を守り、また経済社会への被害が致命的なものにならず迅速に回復する。「強さとしなやかさ」を備えた国土や経済社会システムを平時から構築するという発想に基づき継続的な取組みを行うことが必要であり、それが国土強靱化基本法です。



1、沼田市国土強靱化について	質問内容
ア 沼田市におけるBCPについて	① 沼田市のBCPの現状について ② 沼田市内における危険区域の調査について
イ 沼田市における防災減災について	① 沼田市防災拠点について
ウ 沼田市民の人命保護について	① 地域による防災減災協議会の必要性について

Q1 沼田市のBCPの現状についてお伺いします。

A1 市役所機能のBCP、いわゆる「事業継続計画」につきましては、各課で行っている通常業務に優先順位をつけ、災害対応業務を行いながら、優先して行うべき通常業務を実施していくために、その重要性を認識し、本年度中の策定を目標に、現在、案を作成しています。

Q2 沼田市内における危険区域の調査についてお伺いします。

A2 危険区域におきましては、定点カメラなどによる24時間体制の監視を行うことが理想であると考えていますが、設置及び維持管理、並びに人員配置等、現在の沼田市におきましては、大変難しい課題であります。そこで、議員ご指摘のドローンの活用は、平時の危険区域の状況確認及び災害時における被災状況調査に役立つものだと認識しておりますので、今後、当市においての活用に向けた研究を進めてまいりたいと考えております。

Q3 沼田市防災拠点についてお伺いします。

A3 現在の市役所本庁舎が防災拠点となり得ない場合、代替拠点として、沼田市保健福祉センターを指定し、昨年度、同施設内に日本LPガス団体協議会の補助を受け、非常時に1階主要部分への電力供給と建物外にもガス供給が可能なプロパンガスを熱源とした「災害対策バルクタンク」と「発電機」等を設置したところであります。

Q4 地域の防災減災協議会の必要性についてお伺いします。

A4 国が推し進めている国土強靱化は、土地利用のあり方や、警察・消防・医療・交通・物流・エネルギー供給・情報通信・ライフライン・行政等、様々な重要機能のあり方を見直し、対応策を考え、施策を推進するものと認識しております。市の関係部局にとどまらず、広範囲にわたる関係者との連携・強力が必要であるとともに、第三者の視点として、学識経験者の意見も取り入れることで、スムーズなローリングが図れることとなります。今後、「沼田市国土強靱化地域計画」を策定する際には、官民一体の組織により、安心・安全な沼田市を目指した計画づくりを行ってまいりたいと考えております。

夢を実行する!

●ドローン教習施設の実行

私は先日静岡県富士宮市にある富士訓練センターで講演を聞いてきました。講演内容は今後のドローン活用方法についてです。防災・減災に対してのドローン活用方法や、土木測量、橋梁耐震確認、トンネル内耐震確認、更には農業分野等でのあらゆるドローンの可能性を知ることができました。同時に今回の一般質問である「国土強靱化」にドローンを取り入れるべきと確信し、沼田市にドローンの教習施設を作る事を考えました。

1、ドローン操作教習の実施

●ドローンを安全に飛行させるための知識と操縦技術を習得し、また飛行業務の安全を管理する人材を育成



2、危険区域の定期的な確認と、その画像公開(危険区域の見える化)

●ドローンにより、危険区域の空撮を行いインターネットにて発信する



3、ドローンによる土木測量



4、ドローンによる太陽光パネルの点検



将来におけるドローン連携事業の開拓 地域活性化に必ずつながります!

- ①危険区域見える化の実現
- ②ドローンによる測量
- ③ドローンによる太陽光パネルの点検
- ④ドローンを活用した農業分野
- ⑤ドローンを活用した建築物のメンテナンス
- ⑥空撮で収集した危険場所のデータ解析及び提案
- ⑦ドローンを活用した鳥獣の追い払い
- ⑧寒冷地での融雪剤散布
- ⑨観光地の空撮及び発信
- ⑩ドローン競技大会の実施

あとがき

今回の花絵はニッコウキスゲです。黄色い花は心を明るくさせ、まわりをなごやかにします。花言葉は、「日々あたらに」です。ドローン教習施設計画も心を引き締め、あたらな気持ちで取組んでいきます。

桑原としひこ後援会

沼田市町田町257 TEL.0278-23-0400 Fax.0278-25-3072
<http://www.facebook.com/kuwabaratoshihiko>



絵花シリーズ⑤